



# 石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校  
NO.10 令和3年1月20日  
発行者：校長 久保田 昌之

## 新しい年をむかえて

新年明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



さて、令和3年（2021年）が始まりました。今年の干支は「丑」になります。「丑年」の言われを紐解くと「先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年」と言われているそうです。また、丑年は「我慢」や「発展の前振れ」を表す年になるとも言われています。2021年は、新型コロナウイルス感染防止に耐えながらも一歩一歩前進し、みなさんにとって希望に満ちたすばらしい年となることを願っています。

## 石海小わくわくウインター集会

児童会が、いろいろなクラスや学年の人となかよくなることをめあてにして、感染症対策をとりながら、ウインター集会を開きました。



この日のために、各クラスで冬の飾りを作って廊下や運動場に掲示しました。「もうじゅうがり」や「〇×クイズ」等のゲームを通して、日頃ふれあうことのない仲間と仲良く交流することができました。

## きんちょうした いわみっこ Music Week

兵庫県内で新型コロナウイルス感染者が急激に増加した状況を踏まえ、安全を最優先して「いわみっこ Music Day (オープンスクール)」を中止することにしました。子どもたちは、一生懸命練習を積み重ねてきたので、感染防止対策を実施しながら、体育館で児童同士披露する「いわみっこ Music Week」を開催しました。お互いに合唱や合奏を聴き合いながら、音楽のすばらしさを実感できました。



## 自分でプログラムを作ったよ

石海小では、発達段階に応じて、プログラミング教育を実践しています。1年生と3年生は、プログラミング言語である「Viscuit」を使用して、アニメーション作りに挑戦しました。自分の描いた絵がプログラム通りに動いた時は、思わず歓声が上がっていました。



教職員も、プログラミング教育の指導力向上のために研修を積み重ねています。今回は、「レゴ WeDo2.0」を使って、試行錯誤しながらプログラミングを行いました。



令和3年1月から児童1人1台左のノートパソコンが導入されました。いろいろな機会をとらえて、コンピュータ活用能力を育てていきます。

## 阪神・淡路大震災から26年

自然災害から自らの命を守るため、1月14日(木)に地震を想定した避難訓練を行いました。その際、阪神・淡路大震災時に被災地の学校を支援する教職員の組織、「震災・学校支援チーム(EARTHアース)」が結成された話をしました。石海小にも EARTH の教職員が在籍しており、被災地の支援活動を行っています。震災の教訓を踏まえ、共生の心を育み、人としての生き方を考えさせる「兵庫の防災教育」に取り組んでいきます。

### \*\*\*\*\* 教室の窓 \*\*\*\*\*

一人の児童が、「〇〇ちゃん、二重跳びができるようになったんやで。すごいやろ。」と満面の笑みで駆け寄ってきた。自分はまだ跳べないけど、友だちが跳べるようになったらしい。冬休みも練習を続け、今日、初めて2回跳べたとのことだった。その友だちは恥ずかしそうに笑っていたが、これまでの努力が少しずつではあるが実を結び、友だちに認められていることに自信をつけているようにも見えた。

何より、友だちの頑張りを認め、成功を自分のことのように喜ぶ友人の姿もステキだと感じた。身近な人と比較し、妬んだり落ち込んだりするよりも、他者の成功と共に喜び合える豊かな人間性を私も磨いていきたい。

〈文責：教頭 三宅 優一〉